

2018年10月29日

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 畑 佳 秀
 (コード番号 2282 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 コミュニケーション戦略本部
 コーポレート・コミュニケーション部長
 片岡 雅史
 (TEL 06-7525-3031)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月10日の「平成30年3月期決算短信」にて公表した2019年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績の予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

■2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2018年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的一株当たり四半期利益
前回発表予想 (A)	650,000	30,000	28,000	19,500	181.41円
今回発表予想 (B)	618,000	21,400	23,100	16,300	151.64円
増減額 (B) - (A)	△ 32,000	△ 8,600	△ 4,900	△ 3,200	
増減率	△ 4.9%	△ 28.7%	△ 17.5%	△ 16.4%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	627,060	29,814	30,716	20,617	194.42円

■2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的一株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	1,310,000	50,000	46,000	32,000	297.69円
今回発表予想 (B)	1,260,000	36,000	33,000	23,000	213.97円
増減額 (B) - (A)	△ 50,000	△ 14,000	△ 13,000	△ 9,000	
増減率	△ 3.8%	△ 28.0%	△ 28.3%	△ 28.1%	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	1,258,463	45,830	52,798	37,552	352.26円

※当社は当連結会計年度よりIFRSを適用しております。前年同期及び前連結会計年度の諸数値についても、IFRSに準拠して表示しております。

※当社は2018年4月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定して、「基本的一株当たり当期利益」を算出しております。

【修正の理由】

〈第2四半期連結累計期間〉

売上高については、豪州における牛肉輸出が順調に回復したものの、国産食肉の相場下落や競争激化による水産部門の販売苦戦により、売上高は前回予想を下回る見込みです。利益については、食肉相場の下落やファーム事業における飼料価格の上昇などに加えて、台風21号及び北海道胆振東部地震の影響による棚卸資産の評価損や固定資産減損損失が発生したことから、各段階利益において減益となる見込みです。

〈通期〉

第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、今後の見通しを検討した結果、主として食肉事業が被る災害の余波など、厳しい事業環境が継続することが見込まれるため、通期についても連結業績予想を修正いたします。

【ご参考】 台風21号及び北海道胆振東部地震による2019年3月期連結業績への影響見込

(単位：百万円)

	2019年3月期第2四半期 累計期間	2019年3月期通期
営業利益	△ 1,897	△ 2,476
税引前利益	△ 2,304	△ 3,233

以 上

《将来に関する記述等についてのご注意》

本プレスリリース資料に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、このプレスリリースに記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。